

保護者の皆様へ

南知多町教育委員会
南 知 多 町

南知多町立中学校再編に向けてのアンケート調査

日頃は、南知多町の教育にご理解・ご協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、本町では将来を見据え、子どもたちにとってよりよい教育環境を整備するために、現在、中学校再編（学校統合）について検討をしています。これまでの経緯につきましては、町広報令和2年10月号でお知らせしたとおりです。その後協議を進め、令和3年1月27日には「南知多町立小中学校適正規模・適正配置基本計画」において、小学校及び中学校の適正配置計画を定めました。

（中学校の適正配置計画については、別添「参考資料」をご覧ください。）

この計画について、過去のアンケート調査や学校規模適正化懇談会、各種意見交換会等でいただいた様々なご意見を基に、第1段階・第2段階における具体的な実施方法を協議してきました。それを今回＜原案＞として提示させていただき、皆様のお考えを把握したうえで「南知多町立中学校再編実施計画（案）」の作成に向けて進めていきたいと考えております。まず、別添「参考資料」をご覧ください、下記アンケートにご協力いただきますようお願いいたします。

（記入は、別紙「回答用紙」へお願いします。）

お子様が在園・在学の場合は、「回答用紙」を封筒に入れ封をして所属の園・学校へ7月20日（火）までにご提出ください。

お子様が未就学の場合は添付の小封筒に入れ、南知多町教育委員会学校教育課宛て郵送してください。よろしくお願いいたします。

（より詳しい内容は以前、配付させていただいた資料、町公式ホームページでご覧いただけます。）

＜お問い合わせ先＞

南知多町教育委員会 学校教育課
電話（0569）65-0711 内線552

記

＜ アンケート ＞

- 1 お住まいの地区をお答えください。南知多町大字（ 地区名 ）
- 2 お子様の所属について、お答えください。複数のお子様がいる場合は、回答欄にお子様の人数分、回答用紙の例を参考に記号をご記入ください。

ア 未就学 イ 小学校1～3年 ウ 小学校4～6年 エ 中学校

< 原 案 >

- 内海中、豊浜中、師崎中を統合する。
- 篠島中、日間賀中については、あくまで保護者の理解が得られた段階で統合する。理解が得られれば第１段階で統合する。

2

南知多町立中学校再編に向けてのアンケート調査
「回答用紙」

設問 1	お住まいの地区（大字）を記入してください。	大字
設問 2	お子様の所属を選んでください。（未就学はア 小学校 1～3年はイ 小学校4～6年はウ 中学生はエ） 複数のお子様がいる場合 （例：小4、小6、中3→ウ、ウ、エ）	記号
設問 3	ア～カから一つを選んでください。	記号
設問 4	設問 3 でイ～エの場合のご意見をお書きください。 （ご意見のある項目についてお書きください。） （1）統合の時期 （2）統合校の場所 （3）統合の方法 （4）その他	
設問 5	ア～オから一つを選んでください。 篠島、日間賀島の方のみお答えください。	記号
	「オ その他」の場合のご意見をお書きください。	
設問 6	中学校再編についてのご意見がありましたらお書きください。	

ご協力ありがとうございました。

参 考 資 料

1 中学校の適正配置計画（「南知多町立小中学校 適正規模・適正配置基本計画」から抜粋）

【第1段階】

町内の中学校を令和5年度以降、できる限り早い時期に統合する。※
統合校については、段階的な統合も含め、今後、地域の理解を得たうえで検討を進めていくものとする。

【第2段階】（第1段階の取組後、状況を見ながら第2段階に移行）

町立中学校を1校とするための統合の検討を進める。
統合中学校校舎の状況を検証し、新校舎設置の準備をする。新校舎の設置場所や規模、内容等については、今後の社会状況、各地域や学校の状況等を総合的に検討し、保護者等の理解を得ながら協議していく。

※ 中学校の適正配置計画では、第2段階において「第1段階の取組後、状況を見ながら第2段階に移行」としてありますが、原案作成において、将来のことを考えるうえで、現時点での第2段階までの見通しを提示することが必要と考えました。

2 中学校再編の基本的な考え方

「未来を生きる子どもたちにとって、より望ましい教育環境を実現する」ことを最優先に考える。そのために、一定程度の学校規模を保つように再編統合することで、中学生が様々な人との出会いをできるようにする。

このことによって、より充実した中学校生活を送れるようにするとともに、将来、社会の一員として生きていくために必要な力を育てていく。

3 アンケートで提示させていただいた＜原 案＞について

できる限り早い時期での統合を考えるためには、既存の校舎を活用することが必要です。しかし、町内の多くの校舎は耐用年数が過ぎており、たくさんの予算を使って長寿命化工事をして近い将来、改築が必要となります。また、現在、校舎のある場所で新校舎を建設すると大規模な仮校舎の建設が必要となってきます。

そこで、2段階での統合移転案を考えました。既存内海中校舎を活用して一度統合し、現豊浜中の位置に新校舎建設を進めるというものです。仮校舎建設の必要がなく、学校生活の場所で工事をするわけではないので、工事による中学生への負担はありません。また、移転の間隔を3年以上開けることによって、同一生徒が中学校在学中にする移転経験を1回にすることができます。

最終統合校の建設について、先を見据えて計画することができるので、将来の生徒数に合わせて充実した教育環境整備をすることができます。

(1) 統合の時期

「令和5年4月に統合する」とした理由は、保護者アンケートや学校規模適正化懇談会で、特に内海・豊浜・師崎地区において、できるだけ早い時期での統合を望む声が多かったためです。

第2段階で「令和10年4月までに統合する」とした理由は、町内全中学校の早い時期での統合を目指すものの、新校舎建設に期間を要するためです。

(2) 統合校の場所

第1段階での統合校位置を内海中としたのは、現在、各校で特別支援学級が増えており、師崎中は統合校としたときに教室数が不足してしまうからです。また、統合小学校設置場所候補になる可能性があることから選定は難しいと考えました。

豊浜中は、最終的な統合中学校と考えており、財政負担となる仮校舎を造らずに環境整備をして新校舎を建設するためには、一度、校舎・用地を空ける必要があるからです。

第2段階で統合中学校を「現豊浜中用地の位置に新校舎を建設する」とした理由は、地理的に本町中心に近く、両島も含めたすべての地区からの生徒の通学や保護者の利便性を考慮したためです。現内海中の位置は、鉄道の駅があり、他市町の中学校・高校・大学などとの連携・交流等においては便利ですが、毎日の通学における利便性を重視しました。

現豊浜中用地については、新校舎建設位置を工夫し、用地取得を検討するなどして、できるだけ広いグラウンドになるように努めます。

統合場所について、「新しい場所への建設を考えたかどうか」というご意見もありました。現在、「大字豊丘地内」（旧新運動公園：南知多道路豊丘ICから羽豆岬に延びるバイパスの馬道交差点から北西の位置）に町所有の土地があります。ここは市街地から離れた位置にあり、日頃の地域住民の方などとの連携やスクールバスの台数の確保、公共交通（海っ子バス）へのアクセスに課題があります。また、現在、災害発生時の防災ヘリコプター発着など町の防災拠点としており、観光シーズンには両島観光客臨時駐車場として利用していますので、その代替地の確保が必要です。

ここに新設校を建設する場合、造成地であるため地盤の強度を考えると校舎建設位置は限定され、学校周辺の道路拡幅等の整備にも課題があります。また、新設校へ移るまで5中学校を現状通り維持・運営するため各中学校の施設等維持管理費などの町財政負担の軽減を見込むことができません。

(3) 統合対象校

第1段階で半島側3中学校の統合を考えたのは、アンケート調査結果、学校規模適正化懇談会、地区意見交換会などで、この3校の早期統合を望む声が多くあったからです。

篠島中と日間賀中については、今後も情報提供とともに協議する場を設け、可能であれば半島側3中学校と同じタイミングで統合できればと考えていますが、あくまで、保護者の皆様のご理解をいただいた段階で統合します。

※ 様々な場面で、多くいただいた主な意見

- 登校時の安全・利便性と学校生活での安全性を最優先する。
- 災害発生時における生徒の安全を確保する。
- 南知多町全域からの通学の利便性を考える。
- 本校舎、特別教室棟、体育館等の躯体健全度調査結果を考慮する。
- 他市町の中学校との交流、高校・大学との連携を考える。
- 運動部活動を安全に行うための活動場所を確保する。
- 改修工事による生徒への影響に配慮する。
- 学校施設の長寿命化工事に掛かるコストを極力抑える。 など

4 町内の年少者人数

(令和3年4月1日現在：単位は人)

年齢 学校区	0歳		1歳		2歳		3歳		4歳		5歳		6歳		7歳	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
内海中	10	6	14	7	10	10	9	7	14	14	11	17	16	13	11	20
	16		21		20		16		28		28		29		31	
豊浜中	7	3	4	7	5	7	6	13	5	12	8	12	17	9	6	11
	10		11		12		19		17		20		26		17	
師崎中	4	3	8	3	8	6	10	7	5	6	13	4	7	15	11	7
	7		11		14		17		11		17		22		18	
篠島中	3	3	6	8	3	2	12	11	3	5	5	3	9	9	8	6
	6		14		5		23		8		8		18		14	
日間賀中	6	4	4	3	6	6	4	4	9	9	5	8	10	10	7	14
	10		7		12		8		18		13		20		21	
合 計	30	19	36	28	32	31	41	42	36	46	42	44	59	56	43	58
	49		64		63		83		82		86		115		101	

学校区	8歳		9歳		10歳		11歳		12歳		13歳		14歳	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
内海中	17	12	20	17	22	14	16	26	17	18	15	14	16	18
	29		37		36		42		35		29		34	
豊浜中	15	14	17	16	14	8	13	19	8	19	11	13	23	13
	29		33		22		32		27		24		36	
師崎中	9	10	10	13	12	9	9	13	18	14	14	12	15	15
	19		23		21		22		32		26		30	
篠島中	6	4	6	12	8	4	6	7	8	9	6	3	5	4
	10		18		12		13		17		9		9	
日間賀中	7	8	5	5	11	7	4	5	8	12	9	9	12	14
	15		10		18		9		20		18		26	
合 計	54	48	58	63	67	42	48	70	59	72	55	51	71	64
	102		121		109		118		131		106		135	

5 施設の老朽化

学校名			内海中	豊浜中	師崎中		篠島中	日間賀中	
教室棟	本 校 舎	建築年	S39.9	S46.2	S35.3		S55.3	S37.2	
		築年数	築56年	築50年	築61年		築41年	築59年 ※	
		床面積	2,956 m ²	3,309 m ²	1,627 m ²		2,027 m ²	1,024 m ²	
	特 別 棟	建築年	S57.2	S46.2	S45.12	S58.3		S49.3	S59.2
		築年数	築39年	築50年	築50年	築38年		築47年	築37年
		床面積	663 m ²	1,291 m ²	605 m ²	1,162 m ²		568 m ²	605 m ²
体育館	建築年		S63.3	S46.12	H2.2		S52.3	S59.3	
	築年数		築33年	築49年	築31年		築44年	築37年	
	床面積		1,454 m ²	1,509 m ²	1,562 m ²		604 m ²	826 m ²	
運動場	面 積		12,069 m ²	9,332 m ²	8,985 m ²		5,846 m ²	1,169 m ²	

＝法定耐用年数を経過した施設 ※ 築年数：令和3年6月現在の建築後経過年数

学校施設の法定耐用年数＝減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和40年大蔵省令第15号）において建物の構造・用途別に定められており、鉄筋コンクリート造の学校用（体育館を含む）は47年（平成10年度改正）とされている。

年数を経過した建造物は、計画的に長寿命化工事が必要となる。

6 財政参考資料

南知多町の財政状況については、

- ・財政力指数（高いほど財源に余裕、1.0以上で地方交付税支給なし）**0.53**
- ・経常収支比率（毎年、確実に支出しなければならない経費の割合）**約90%**
- ・地方債（政府系金融機関等からの借入）残高 **約70億円**（増加傾向）

で、財政調整基金（町の貯金）はここ数年減少しており、実質単年度収支の赤字が続
き、人口減少とともに町税収入も減少が続いています。

令和3年度予算から、実質単年度収支の赤字を解消するため歳出の抑制を図って
いますが、あと数年は実質単年度収支の赤字解消を目指し、収支のバランスが回復で
きるよう必要な対策を検討していく必要があります。

この時期に新中学校建設を含む中学校再編計画を進めることには財政上の難しさは
ありますが、新中学校建設事業費をできるだけ圧縮するとともに、

- ・統合によるスクールバス運行経費などの **増**、
- ・建設に伴う借入（償還期間25年、毎年の返済約1億円）の償還経費の **増**、
- ・統合に伴う学校施設等維持管理費などの **減**

などを検討し、財政的努力を続けていく必要があります。

7 中学校の年間施設等維持管理費（概算）

- 年間経常経費 1校あたり 約1,800万円

（統合した場合、必ずしも全額削減できるものではありません。）

8 仮校舎建設費用（概算）

- 現在の学校規模で仮校舎を建設した場合の例

普通教室3，特別支援教室1＋特別教室 約1億1,000万円

- 統合した後の学校規模で仮校舎を建設した場合の例

普通教室9，特別支援教室3＋特別教室 約1億6,500万円

- ※ 体育館の仮校舎はありませんので、工事期間中の体育館利用はできず、工夫
して活動することになります。

9 再編に向けて今後検討していく内容

○ 中学校で身に付けさせたい資質・能力についての共通理解

新学習指導要領によるこれからの教育には、家庭や学校だけではなく地域の方々との連携が今まで以上に必要とされています。そこで、将来の南知多町を支える子どもたちをどのように育てていくのか、地域の皆様との共通理解が不可欠です。

○ 通学方法の整備

通学にかかる交通費については、町が負担します。通学の利便性を確保するために、名鉄海上観光船には定期船増便を要請しています。（チャーター便になるように調整しています。船が利用する港は、全体の通学時間を考えて各島1か所です。）さらに、海っ子バスの増便、スクールバス購入など、統合中学校へのアクセス整備を進めてまいります。

○ 災害発生時等の生徒の安全確保

災害発生時の生徒の安全確保は、最重要課題の一つです。特に、両島から通学する生徒の安全を確保するために、保護者の皆さんの声を聞きながら中学校再編委員会で具体的な対応策を決定します。

天候が荒れてしまった日の両島生徒は、登校せず、島内で遠隔授業が受けられるように施設整備をしていきます。

○ 統合前の交流事業、合同部活動の体制整備

将来の統合を目指すとともに、町内中学生の交流を図るための事業を実施していきます。部活動については、統合が確定し、保護者の皆様のご理解がいただければ、統合前からの合同練習や合同チームでの大会出場を検討していきます。

- 用地確保（グラウンド、駐車場、車道など）と造成・整備
- 新設統合中学校基本構想・基本計画策定
- 新校舎の設計、建設工事及び財源確保
- 中学校再編委員会、検討部会の設置（細部は、ここで協議します）
- 施設改修計画・備品等移動計画 など

10 原案を実現するためのスケジュール

令和 3年	7月	中学生以下のお子さんの全保護者対象アンケート実施
	8月	アンケート結果の集約と実施計画（ <u>素案</u> ）作成
	9月	保護者意見交換会（「実施計画（素案）」について） 意見を踏まえて実施計画（ <u>案</u> ）作成
	10月	住民意見交換（説明）会（実施計画（案）について）
	11月	定例教育委員会・総合教育会議で実施計画の決定
	12月	町議会へ実施計画報告、学校設置条例の改正